



みなとオアシスとは「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録する制度です。このたび登録された「みなとオアシス安下庄」は海の市広場を中心に橘グリーンパークや橘ウインドパークなど9カ所の施設等で構成され、賑わいの創出など、地域振興・活性化を支える役割が期待されます。



◀ 6周年を迎えた安下庄海の市。たくさんの方で賑わっていました。

「みなとオアシス安下庄」の登録祝う

11月26日に行われた山口県豊魚祭には、村岡副政山口県知事をはじめ多数の来賓や関係者が出席し表彰式などが行われ、環境保全と水産業の将来について相互理解を深めました。

また、全国で104番目の登録となった「みなとオアシス安下庄」について、この日登録証の交付を受けた椎木町長は「各方面の方々が観光漁業という側面から取り組んだ海の市が高く評価された。港を核としたまちづくりの拠点となるよう願っている」とあいさつしました。登録施設の中核を担う安下庄海の市広場では恒例の安下庄海の市も開催され、鮮魚や農産品などの販売、みかん鍋の振る舞いやもちまきなども行われ、たくさんの方で賑わいました。



◀ 環境を守るために互いに協力し合おうと、安下庄小の児童により、みかんやアユ、アジアメバルなど森、川、海それぞれの幸を交換するセレモニーが行われました

ふるさと海・川に関するポスターで受賞した皆さん

- 【小学生の部】
山口県知事賞 中村 優月さん (森野小3年)
周防大島町長賞 川口美波さん (城山小1年)
- 【中学生の部】
山口県知事賞 松永ひかるさん (大島中1年)
周防大島町長賞 大海陽香さん (大島中2年)



小・中・高が連携し防災訓練

▶ 町内18カ所に設置してある防災倉庫の装備について説明を聞く児童生徒



久賀地区の小中高合同での防災訓練が11月27日、児童・生徒・専攻科生や地域の見守り隊の方々など約230人が参加し行われました。

訓練は今年で3回目、今回も地震発生から大津波警報を想定し行われ、参加者全員が真剣な面持ちで、迅速に高台などへの避難を行いました。

その後大島防災センターで行われた研修では、防災センター内に備蓄してある物や、町内18カ所に設置している防災倉庫の装備品の一部を実際に見たり使い方を習ったりして、いざというときの備えに、気持ちを新たにしていました。

豊かで快適な環境を次世代へ

11月9日、大島防災センターにおいて開催された「快適な環境づくり柳井地区大会」には、柳井地域の快適環境づくり推進委員ら関係者約100名が集い意見交換などを行いました。

大会では、環境美化・環境衛生に貢献された方々への表彰が行われたほか、表彰を受けた「NPO法人周防大島ふるさとづくりのん太の会」と「美しい三浦を創る会」が事例発表を行い、ふるさとでの快適な環境をつくり守るために住民自らが行動を起こすことの大切さを伝えてくれました。



▲周防大島町快適環境づくり推進協議会砂岡会長が大会スローガンを読み上げました